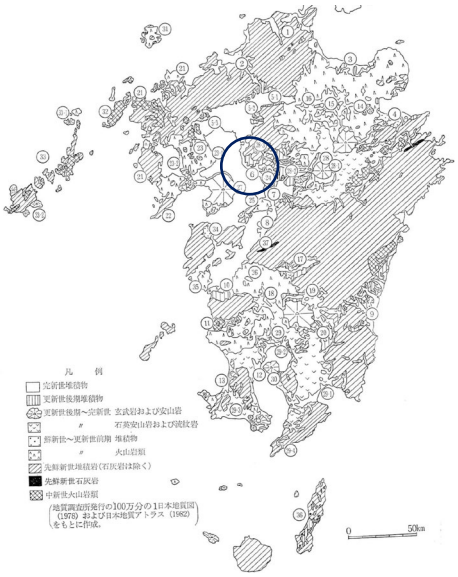
6.玉名平野



地形・地質

玉名平野は菊池川河口より 12km 上流の白石付近にある狭さく部分から下流に広がる段丘や沖積低地が分布します。

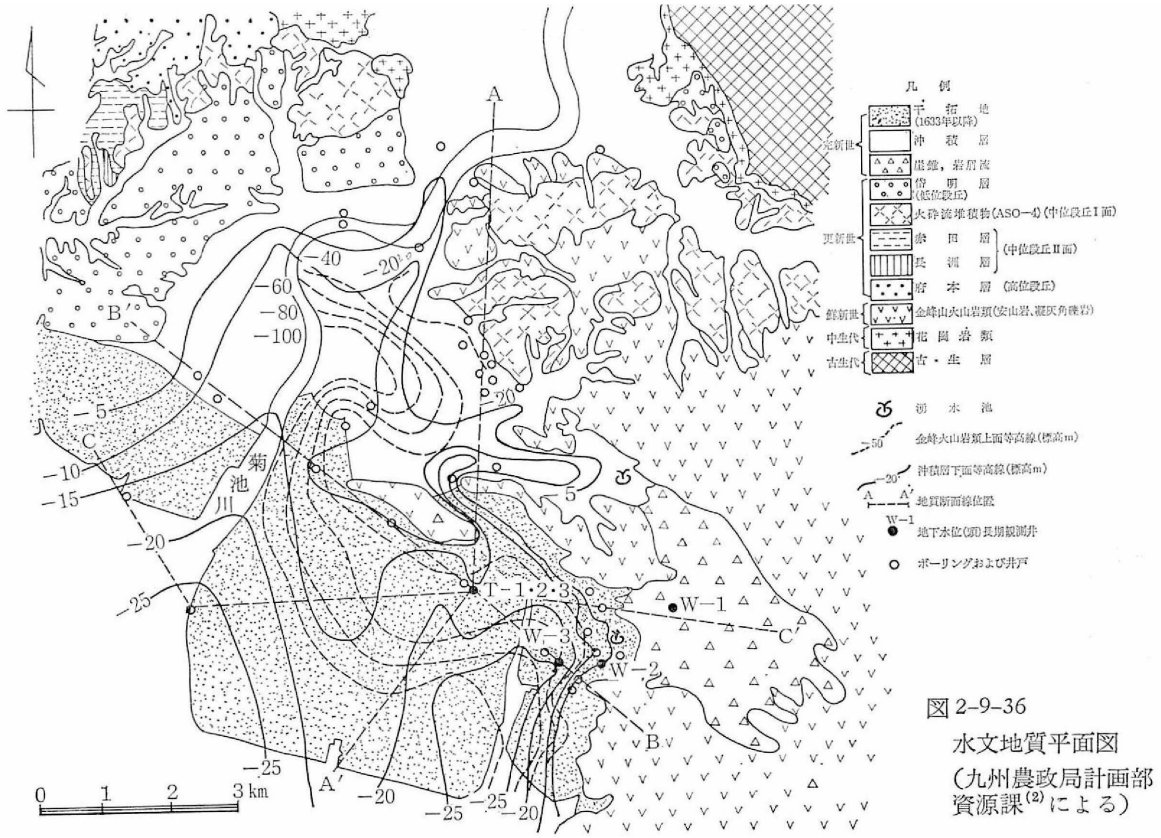


図 2-9-36
水文地質平面図
（九州農政局計画部資源課[2]による）

玉名平野の水文地質平面図

地下水

主要帯水層は未区分洪積層と金峯山火山岩類の裂か水です。未区分洪積層は，砂・砂礫・粘土の互層からなり，本平野の主要帯水層です。第四紀の岱明層と島原海湾層は，分布が海岸に近く塩水化の危惧があるため，ほとんど取水されていません。

玉名平野の層序表

時代 ＼ 地区			横島地域 九州農政局計画部資源課[2]	玉名地域 古川・満塩[1]
第四紀	完新世		有明粘土層	有明粘土層
	更新世	後期	島原海湾層	島原海湾層
			岱明層	岱明層
			阿蘇4火砕流	八女粘土層
			未区分洪積層	赤田層
				長洲層
			阿蘇3火砕流	
		中期	未区分洪積層	府本層
			?	?
		前期	金峯山火山岩類	
先第四紀			花崗岩類・結晶片岩類	古第三紀層 花崗岩類

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）